

平成20年度品種比較試験結果

この試験は、岐阜県の奨励品種選定のための基礎資料を得るために行っています。試験結果は、以下のとおりでした。



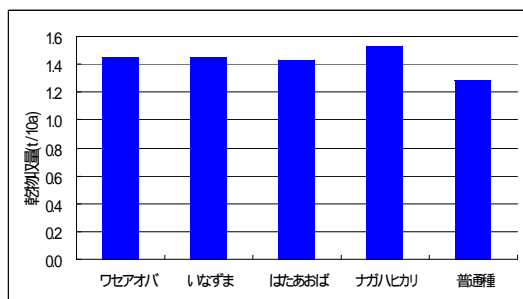
要 約

<イタリアンライグラス>

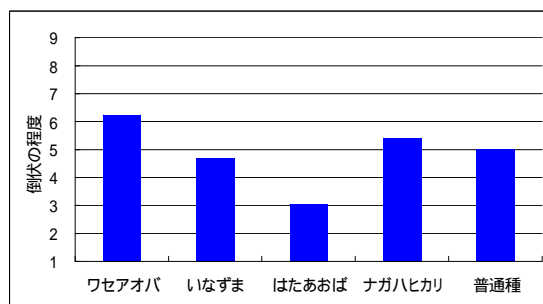
イタリアンライグラスは、3年目の調査が終了しました(昨年終了した「いなずま」を参考のため示しました)。早生品種の「はたあおば」は、倒伏に強く、乾物収量が奨励品種の「ワセアオバ」と差がありませんでした。中生品種の「ナガハヒカリ」は、「ワセアオバ」に比較して乾物収量が優れていました。「普通種」は、他の品種に比較して乾物収量が少ない結果でありました。「はたあおば」、「ナガハヒカリ」は奨励品種として期待できそうです。

<トウモロコシ>

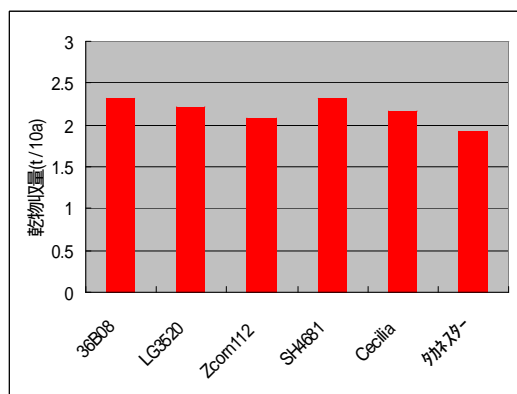
トウモロコシは、調査が1年目から3年目のものであります。乾物収量は、早生品種では、「36B08, SH4681」が、中生品種では「DKC61-24, 31P41」が優れていました。「31P41」のごま葉枯病の程度は、7.7で昨年の6.3より高い値でありました。3年目の調査が終了した「SH4681」は、3年間に渡って高い収量を維持しており病害に対しても比較的強く奨励品種として期待できそうです。



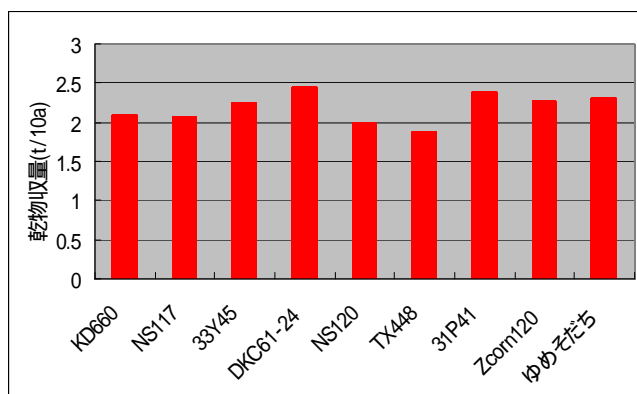
イタリアンライグラス(H18~H20)
いなずまはH18, H19の平均値



倒伏の程度(H18~H20)



トウモロコシ早生品種(H20)



トウモロコシ中生品種(H20)

結果の概要

イタリアンライグラス

1. 方法

(1) 早生3品種(奨励品種のワセアオバを含む)、中生1品種と県内で最も需要の多い「普通種」を用いた。供試は3年目である(優春は1年目)。

(2) 区画の大きさは、2.4m × 2.5m で4反復を設けた。

(3) 種子は、平成19年9月27日にa当たり0.3kgを散播した(4倍体のナガハヒカりは0.48kgを播種)。

(4) 肥料は、化成肥料と尿素を用いた。基肥は、イタリアンライグラス専用の化成肥料(N:P:K=8:12:6)をa当たり12.5kg施用した。追肥は、尿素を1番草後に1.2kg、2番草後に1.2kgを施用した。

(5) 収量調査は、3番草まで実施した。

2. 結果の概要

(1) 気象は、主たる生育期間である平成19年10月から平成20年6月の9カ月間の値を平年値と比較した。平均気温は、平年より0.4低く、降水量は平年より137mm多く、日照時間は平年より69時間長かった。

(2) 単年度成績は、奨励品種のワセアオバと4品種を比較すると、ナガハヒカりは草丈が長く、普通種は草丈が短かった。耐倒伏性は、はたあおばが優れ、乾物収量は普通種が劣っていた。

(3) 3年間の成績によると耐倒伏性は、はたあおばが優れ、乾物収量は普通種が1番低かった。

トウモロコシ

1. 方法

(1) 供試品種数は、早生が6品種(奨励品種のセシリアを含む)、中生が9品種(奨励品種のZcorn120を含む)の計15とした。相対熟度(RM)の範囲は、早生が100~115、中生が116~124とした。なお、収穫期判定用として36B08(RM106)を使用した。供試品種は1年目の供試である(31P41は2年目、SH4681と33Y45は3年目)。

(2) 試験区の大きさは、10m²(2.5 × 4.0m)とし、各品種とも3反復とした。

(3) 播種は、4月22日に行った。

(4) 栽植本数は、10a当たり早生が7,000本(畦幅70cm × 株幅20cm)、中生が6,500本(畦幅70cm × 株幅22cm)とし2粒点播した。その後、生育途中で1本に間引きした。

(5) 肥料は、基肥としてa当たり堆肥200kgを施用した。追肥は、尿素で5月9日に1kg/a、6月4日に2kg/a、6月18日に3kg/aを施用した。

(6) 播種直後に土壌処理剤を散布し、防鳥網と電気牧柵を設置した。

(7) 調査項目は、発芽状況、初期生育、絹糸抽出日数、病害、稈長、着雌穂高、有効雌穂割合、乾物重とした。

2. 結果の概要

(1) 気象は、主たる生育期間の平成20年5月から同年8月の4カ月の値を平年値と比較した。平均気温は平年より0.3℃低く、降水量は平年並みで、日照時間は平年より134時間長かった。

(2) 発芽は、タカネスターが悪かった。

(3) 初期生育は、タカネスター、33Y45が悪かった。

(4) 稈長は早生が252cm、中生が270cmで、茎葉と雌穂を合わせた乾物重量は、早生が217kg/a、中生が226kg/aであった。

(5) 乾物収量は、早生のLG3520、SH4681、中生のDKC61-24、31P41が奨励品種以上であった。

(6) SH4681の3年間の成績は、耐病性は並であったが収量性が奨励品種以上であったことから奨励品種として期待できる。

表1 イタリアンライグラスの生育・収量調査結果

品種名	番	草	発	定	出	刈	倒	草	生	乾	乾
			芽	着	穂	取	伏	丈	草	物	物
			良	草	始	日			収	率	収
			否	勢	月	月			量	%	量
					日	日		cm	kg/a		kg/a
			9~1	9~1			9~1				
ワセアオバ	1		7.0	7.0	4/30	5/7	8.5	114.7	399.4	21.4	84.5
	2					6/10	8.8	94.6	228.8	15.1	34.5
	3					7/10	2.5	85.6	105.0	18.7	19.6
	計・平均							98.3	733.2	18.4	138.6
はたあおば	1		7.0	7.0	4/30	5/7	5.0	116.9	404.4	19.7	79.6
	2					6/10	1.3	89.0	193.8	15.3	29.5
	3					7/10	1.0	86.3	108.8	17.9	19.4
	計・平均							97.4	707.0	17.6	128.5
優春	1		7.0	7.0	4/25	5/7	7.3	119.2	378.1	22.1	83.2
	2					6/10	6.8	92.4	210.6	14.9	31.4
	3					7/10	1.0	86.5	107.5	19.1	20.6
	計・平均							99.4	696.2	18.7	135.2
ナガハヒカリ	1		7.0	8.0	5/6	5/7	7.3	116.0	526.9	15.4	80.8
	2					6/10	7.5	102.4	298.1	11.9	35.6
	3					7/10	1.5	92.7	153.8	14.3	21.9
	計・平均							103.7	978.8	13.9	138.3
普通種	1		6.0	6.0	5/2	5/7	9.0	97.6	333.8	21.4	71.6
	2					6/10	5.5	77.8	169.4	14.6	24.7
	3					7/10	1.0	73.5	69.4	19.6	13.6
	計・平均							83.0	572.6	18.5	109.9

注：反復数は各品種とも4、同列比較でワセアオバ()との間に1%水準()で有意差あり

表2 3年間の平均値の比較

試験期間	品種名	出穂始	倒伏	草丈	生草収量	乾物率	乾物収量
		月日	9~1	cm	kg/a	%	kg/a
H18~H20	ワセアオバ	5/3	6.2	94	855	17.1	145
	はたあおば	5/3	3.1	96	863	16.6	143
	ナガハヒカリ	5/7	5.4	102	1108	13.8	153
	普通種	5/5	5.0	84	773	16.7	128
H17~H19 (参考)	ワセアオバ	5/2	5.4	92	952	16.2	152
	いなずま	5/2	4.7	93	914	16.3	147

印は県の奨励品種

表3 トウモロコシの生育・収量調査結果

品種名	初期生育	絹糸抽出日数	病 害		稈長 cm	着雌穂 高 cm	稈径 cm	有効雌 穂割合 %	乾 物 重		
			ゴマ葉 枯病 9段階						茎 葉 kg/a	雌 穂 kg/a	合 計 kg/a
	9~1	日									
36B08	7.3	78.0	3.0	219.0	93.7	2.1	96.9	117.0	115.1	232.1	
LG3520	7.7	81.0	5.0	266.9	109.4	2.0	93.3	102.5	118.3	220.8	
Zcorn112	7.3	82.7	5.0	263.1	108.3	2.1	99.2	108.9	99.3	208.2	
SH4681	6.7	82.7	6.0	264.0	106.3	2.0	96.8	106.4	125.3	231.7	
Cecilia	6.3	83.3	6.0	243.6	111.5	1.9	98.4	101.2	115.8	216.9	
タネスター	5.0	83.3	4.7	253.1	91.9	2.3	79.6	100.9	92.2	193.1	
早生平均	6.7	81.8	5.0	251.6	103.5	2.1	94.0	106.2	111.0	217.1	
KD660	6.7	88.3	5.0	266.9	119.8	2.4	97.3	96.1	112.7	208.8	
NS117	7.3	82.3	6.0	264.7	108.1	2.2	98.1	93.8	113.2	207	
33Y45	5.7	88.0	5.3	280.9	124.2	2.2	85.7	110.0	114.7	224.7	
DKC61-24	7.3	85.0	6.0	290.5	139.9	2.4	93.3	118.9	125.2	244.1	
NS120	6.7	87.7	6.3	265.5	115.2	2.3	89.0	95.4	104.1	199.5	
TX448	6.7	88.0	7.0	256.5	111.8	2.2	88.2	91.7	96.0	187.6	
31P41	7.3	84.7	7.7	181.6	125.7	2.2	95.6	114.0	124.3	238.3	
Zcorn120	7.3	87.3	6.7	278.6	128.2	2.4	93.5	111.3	114.4	225.6	
ゆめそだち	7.7	84.3	5.3	245.4	104.7	2.4	99.1	96.0	135.0	231	
中生平均	7.0	86.2	6.1	259.0	119.7	2.3	93.3	103.0	115.5	218.5	

注：乾物収量は同列比較で基準品種(印)との間に1%水準(印)及び5%(印)水準で有意差あり